

Society 5.0に向けたリーディング・プロジェクト WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業

令和2年度予算額 151百万円
(前年度予算額 113百万円)



文部科学省

事業概要

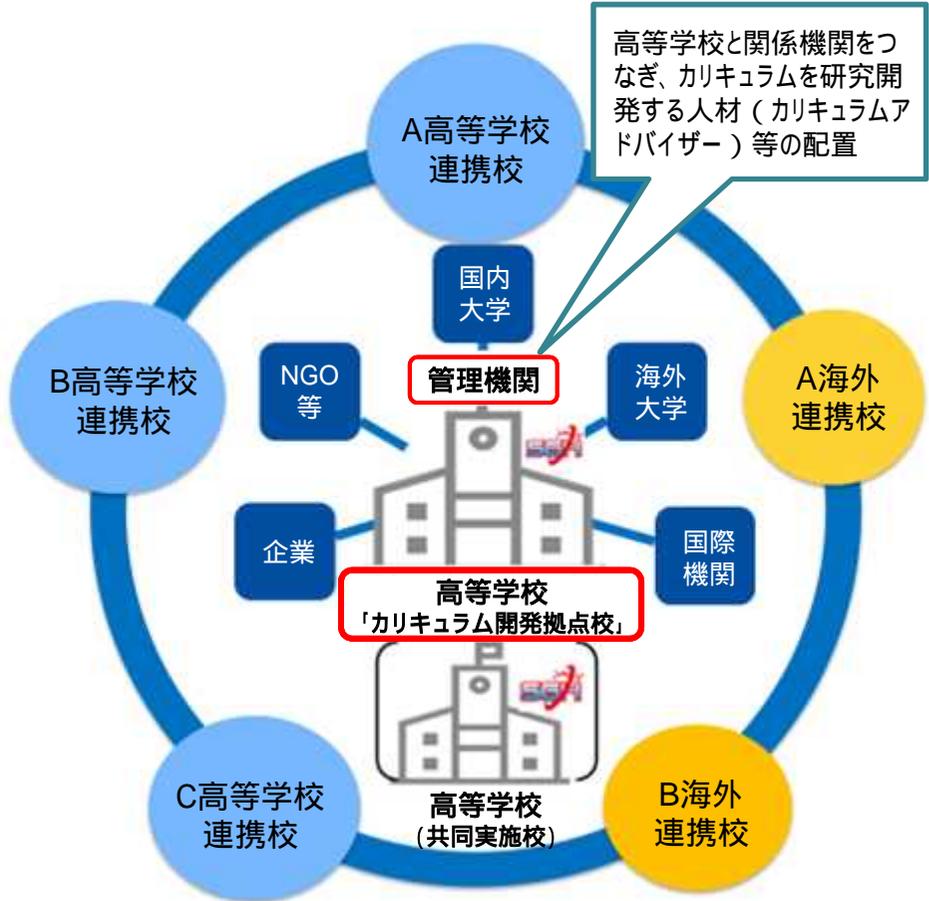
これまでのスーパーグローバルハイスクール(SGH)の成果等を活用

- ◆ 将来、イノベティブなグローバル人材を育成するため、文理両方を学ぶ高校改革と高大接続改革を推進するリーディング・プロジェクト。
- ◆ 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生に、より高度な学びを提供する仕組み「アドバンスト・ラーニング・ネットワーク」を構築。
- ◆ 「カリキュラム開発拠点校」においてグローバルな社会課題の解決等に向けた探究的な学びの研究開発や実践、関連する高校生国際会議を開催。
- ◆ 大学教育の先取り履修など、学年や学校を超えたより高度かつ多様な学びを生徒個人の興味・関心・特性に応じて履修可能とする高校生の学習プログラム / コースの環境を整備。



【高校生ESDシンポジウム】

「アドバンスト・ラーニング・ネットワーク」のイメージ



国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう高校間のネットワークを形成

- 委託事業の概要**(令和2年4月現在)
- 委託先管理機関：都道府県・市教育委員会、国立学校法人、学校法人
 - 委託期間：原則3年(3年目の評価に応じて延長可)
 - 委託件数：16管理機関(R2新規6機関・R元継続10機関)
 - 委託経費：年間900万円程度/件(カリキュラム開発拠点校を含むアドバンスト・ラーニング・ネットワークを形成し、WWLコンソーシアムを構築)
- カリキュラム開発拠点校**(文部科学大臣指定校)の概要(令和2年4月現在)
- 対象学校：大臣指定を受け先進的なカリキュラム開発を行う高等学校等
 - 指定期間：原則3年(3年目の評価に応じて延長可)
 - 指定校数：22校(R2新規指定：12校・R元継続指定：10校)
- 調査研究委託**：1件(事業の評価・検証・成果普及等について調査研究)
- 委託先：民間団体

今後、「カリキュラム開発拠点校」を中心としたアドバンスト・ラーニング・ネットワークを形成した拠点を全国50か所程度配置し、将来的にWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアムの構築へとつなげる